

学校教育関係部門

記載例

令和8年度環境大賞 申込書

【個人部門・学校教育関係部門・団体部門】

応募年月日 令和 年 月 日

活動の名称	「田んぼの生きもの調査と地域還元」～稲作を通じた環境・食育・持続可能性学習～		
応募部門	<input type="checkbox"/> 個人	<input checked="" type="checkbox"/> 学校教育関係	<input type="checkbox"/> 団体
活動内容の区分	<input type="checkbox"/> 地球温暖化防止に係る取組	<input checked="" type="checkbox"/> 循環型社会形成に係る取組	
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境教育・学習に係る取組	<input type="checkbox"/> 環境美化に係る取組	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他環境保全に係る取組	具体的な内容を記入 (水生生物多様性調査と保全)	
(ふりがな) 応募者	氏名・団体名等(個人以外の場合は代表者名も記入してください) 市立 中学校 代表者名: 校長 水田 豊(みずた ゆたか)		
担当者氏名	(ふりがな) かんきょう じろう	担当部署	
	環境 次郎	役職	教諭
住所	〒 010-XXXX 市XXXX-X		
電話番号/FAX	XXX -XXX-XXXX / XXX -XXX-XXXX	E-mail	XXXXX@XXXX.jp
活動や団体に係るURL	http://XXXXXXXXXXXXXXXXXX		
活用している 県の支援等	(県の補助金や県の事業との関わりがある場合は主なものを記載してください。) なし		
賞罰等	なし		

推薦者(他薦の場合のみ記載してください。)

個人又は団体名			
担当者氏名	(ふりがな)	担当部署	
		役職	
住所	〒		
電話番号/FAX		E-mail	

活 動 内 容	
目 的	(活動の目的を記入してください。) 学校田を活用した稲作活動を軸に、地域の水環境の現状や生物多様性の重要性を実体験から学び、将来の担い手として持続可能な社会づくりに貢献する意識を育む。
内 容	(活動内容を具体的に記入してください。) 1. 稲作と環境調査: 2年生全員が年間を通じて稲作(田植え、稲刈り)を実施。同時に、田んぼとその周辺の水路の水質調査(BOD/COD測定)や水生生物調査を科学的に実施。 2. 地域還元: 収穫した米を地元の高齢者施設に寄付。また、稲作で得られた米ぬかを地元の漬物店に提供し、地域資源の有効活用モデルを構築。 3. 普及啓発: 調査結果や環境への提言をまとめ、地域の集会所やショッピングモールでポスター発表会を実施。
活動期間 (活動を始めた年)	(例:平成元年~現在に至る) 平成29年4月~現在に至る
環境保全効果性	(効果、どれほど環境に好影響を与えているか、活動内容の有効性を実績・数値等を元に具体的に記入してください。) 田んぼの水路で指標生物(ホウネンエビなど)の生息数が増加したことを調査データで確認。生徒が作成した啓発ポスターを掲示した地域では不法投棄件数が前年比 %減少。食育への意識向上により、生徒の給食残食率が平均 %減少した。
波及性	(県民に与える波及効果等を実績・数値等を元に具体的に記入してください。) 地域の高齢者や農家、理科支援員など年間 名以上が活動指導者として参加。発表会を通じて、学校外の市民に対して環境問題への関心を喚起し、地域全体への環境学習の波及効果を生んでいる。
地域との連携性 (活動の広がり)	(地域との関わり、地域への貢献内容と効果等を具体的に記入してください。) 学校田は地元の農業法人が無償で提供し、田植え・稲刈り時には地域ボランティアが指導。米ぬかの地域活用では地元の商店街と連携。地域課題解決型の活動を展開。
独創性・先進性	(特徴、独自性、工夫したこと、画期的な点等、特にPRしたい事柄を記入してください。) 稲作を単なる農作業で終わらせず、科学的な水質調査や生物多様性アセスメントと結びつけることで、持続可能な開発目標(SDGs)を実践的に学ぶ先進的な教育手法を採用している。
継続性 (今後の展開)	(活動予定、活動の展開方法等を記入してください。) 卒業生が立ち上げたOBOG会が活動をサポートする体制を確立済み。今後は、米ぬかを利用した有機肥料の開発に挑戦し、さらなる環境負荷低減を目指す。
過去の表彰歴	(受賞年月、表彰の名称、主催者等を記入してください。) 令和 年度 アワード受賞(長表彰)

- 1 「活動の名称」は自由に記入してください。
- 2 連絡先が団体等の場合は担当者の連絡先等も記入してください。
- 3 「目的」、「内容」、「環境保全効果性」、「波及性」、「地域との連携性(活動の広がり)」、「独創性・先進性」、「継続性(今後の展開)」はできるだけ詳しく記載してください。記入欄が足りない場合は別紙に記載してください。
- 4 参考となる活動の写真、資料等を添付資料として提出できます。
- 5 申込書の「活動内容」は5枚まで、添付資料は10枚まで(A4サイズ、裏表印刷可)としてください。